

平成27年11月11日

保護者の皆様

## 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果

京都市立桂坂小学校



4月21日に、本校6年生児童127名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について結果がまとまりました。本調査は国語・算数・理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており生活習慣と学力との関係など、本校児童の状況をお伝えします。

### 総合結果（国語・算数・理科）

国語 AB（Aは主として知識問題、Bは主として活用問題）、算数 AB（国語と同じ）、理科ともに全国平均を上回りました。特に算数においては他の教科よりも全国平均の上回りが大きいという結果が見られました。また国語・算数のどちらもAよりBの方が全国平均の上回りが大きく、知識理解だけでなく、考え方を記述したり知識を活用したりする力においても良い結果が見られました。

### 国語科より

国語 A では漢字の書き取り問題、主語と述語を捉える問題、文章から必要な情報を読み取る問題、国語 B では目的に応じ要旨を捉えながら文書を書く問題において全国平均を10ポイント前後上回っています。また国語 B の記述問題（全4問）に対する無解答率が全国平均より低く、書くことに対して意欲的に粘り強く取り組んでいるという結果が見られます。日常の読書への取組や国語科をはじめ各教科学習において自分の考えをノートに記述する活動が成果につながっていると考えられます。

### 算数科より

算数科は AB すべての問題、すべての領域において全国平均を上回っています。特に算数 B については「数と計算」「量と測定」「数量関係」の3領域で全国平均を10ポイント以上上回っています。算数の授業や毎日の帯学習等を通して基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることが出来ていると考えられます。また算数 B の数学的な考え方を問う問題（計9問）や記述式の問題（計5問）でも全国平均を10ポイント以上上回っています。これは算数科を研究教科として校内で授業研究に取り組んできた成果の表れだと考えられます。

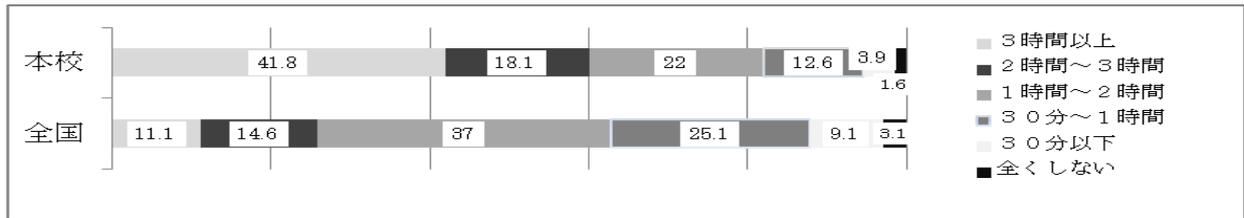
### 理科より

理科も全国平均を上回っていて全体的によくできています。ただし実験器具の名称や適切な扱い方を問う問題では正答率が全国平均を下回りました。既習内容を忘れないように定期的に自主学習等で復習することが大事です。

## 児童質問調査から

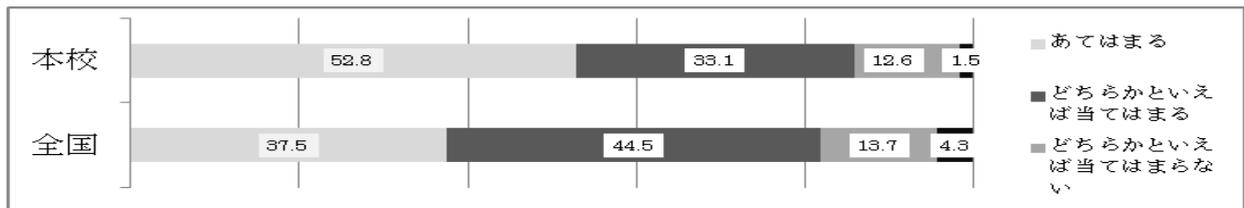
**Q 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか？**

（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

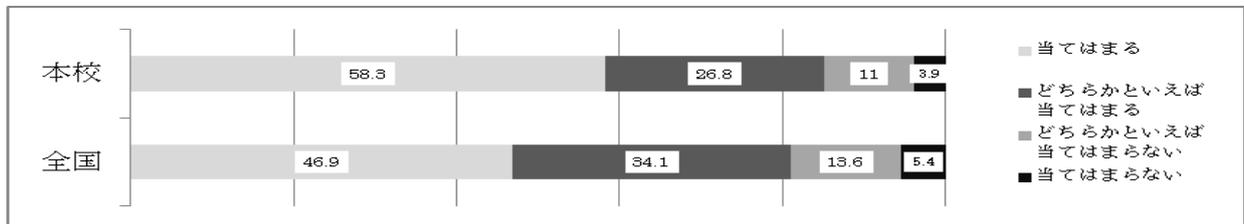


学校の授業以外の学習時間が全国平均より大きく上回っています。学習塾を含めご家庭での支援等によるものだと思います。

**Q 国語の授業の内容はよくわかりますか？**



**Q 算数の授業の内容はよくわかりますか？**



国語・算数の授業内容の理解も全国平均を上回っています。算数科の校内研究をはじめ、各教科において子どもたち一人一人が分かる授業の工夫に取り組んでいます。

## 全体を通した本校の成果と課題

本校では「人とよりよくかわり、楽しくまなぶ桂坂の子」という学校目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て日々の教育活動に取り組んでいます。学力向上に向けては、校内研究を中心とした授業の工夫や帯学習や家庭学習を通して基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る取組等を行っています。今回の結果をみるとすべての教科で全国平均を上回ることができ、取組の成果が表れていると考えられます。また質問調査の結果からも、家庭学習の定着や授業内容の理解が概ねできていると考えられます。ただし全体的にみると全国平均を上回っていますが、個々に見るとそれぞれの課題が見られていますので、一人一人の学力向上に向けても取り組んでいきたいと思います。

## 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。今回の結果をふまえ、全体や個々の課題をしっかりと見極め、ご家庭と連携を密にしながら学力向上に取り組んでいきたいと思っております。今後もご協力よろしくお願いたします。